

第二十三回公開シンポジウム開催のお知らせ

共催：メディカル・マネジメント・プランニング・グループ (株)川原経営総合センター

医療経済フォーラム・ジャパンは、医療経済学の深耕、医療経済学の若手研究者の育成、調査研究及び政策提言を目的とし、2001年4月24日、加藤寛氏、水野肇氏、川原邦彦氏を中心として設立されました。各界の錚々たる有識者から構成される正会員を中心に、隔月で定例研修会、また例年10月には公開シンポジウムを開催しております。今般、会場参加及びZoomでのオンライン参加の併用にて、下記の通り企画いたしました。各位におかれましては、ご参加くださいますようお願いを申し上げます。

テーマ：医療保険の持続可能性

わが国の医療保険制度は、有効性が認められれば高額な医薬品でも保険収載され、高い水準の医療を少ない自己負担で誰でも平等に享受することができるという世界でも優れた制度だといえます。今日まで、この制度を持続させるために様々な改革が行われてきました。医療を取り巻く足下の課題は言うまでもなく少子高齢化によってもたらされています。高齢者の増加に伴う医療費の増額と生産労働人口の減少は、現役世代の保険料負担の持続的な上昇をもたらしています。また、公費負担割合の大きい後期高齢者の増加は国民医療費の公費負担を増加させています。バイオ薬など有効性は高いが価格も高い新薬の登場といった技術進歩も目覚ましいです。ゆえに、世代間の負担の公平や財政規律の視点から医療費の適正化推進は今後も必要だといえます。もともと、無秩序に医療費は増加しているわけではありません。国民医療費の自然増は長らく対前年度比3%であったものが、2013年度以降は2%に低下しています。また、1人当たり医療費の伸び率は老人の方が若人より小さく、高齢者医療費は適切に管理されているといえます。とはいえ、OECDの公表する保健医療支出(国民医療費より広い概念)のわが国の対GDP比(2022年度)はOECD加盟国中第4位と、経済成長の鈍化が主因とはいえ、かつてより大きく順位が上昇しています。

最近では、診療報酬のマイナス改定、後期高齢者の自己負担や保険料の引上げ、後発品の使用促進、長期収載品使用への選定療養費導入、新薬創出加算の厳格化など、様々な医療費抑制策がとられてきました。しかし、過度な適正化は副作用を生じさせる懸念があります。医療機関の経営悪化をもたらす適切な医療提供を阻害します。実際、足下では物価・人件費の上昇を主因とする医療機関の赤字拡大という深刻な問題が起きています。自己負担の引上げやOTC類似薬などの保険給付の見直しは、低所得者の医療アクセスを悪化させます。さらには、不測の医療費支払い準備のため高齢者の消費性向が低下して経済成長に悪影響をもたらすことも懸念されます。薬価基準制度の厳格化はドラッグ・ラグ(ロス)を引き起こしかねません。

今日、どのような処方箋が有効なのか、国民的合意を得られるのか。本シンポジウムは、こうした議論の方向性の一助になればと思って企画致しました。これを契機に、より本質的な考え方が提起されることを期待するものです。

日時	2025年10月2日(木)	13:00～ 受付 13:30～ 開始 16:30 終了	会場	ホテルイースト21 東京1階「イースト21ホール」 東京都江東区東陽6-3-3 TEL.03-5683-5683(代) ※ZoomによるLIVE配信もいたします
参加費	1名様につき11,000円(税込) ※振込期限：9/24(水) 振込先：三井住友銀行/新橋支店(普)1811636 医療経済フォーラム・ジャパン 事務局長 川原文貴 ※振込手数料はご負担願います 【会場ご参加の方】9/30(火)を目途に参加証をメールにて送付申し上げます。 【Zoomご参加の方】9/30(火)を目途に資料及びZoom接続のご案内をメールにて送付申し上げます。			

プログラム

基調講演 13:35～14:05	基調講演・座長： 学習院大学長、当フォーラム会員	遠藤 久夫 先生
	パネリスト： 財務省 主計局次長	吉野 維一郎 先生
シンポジウム 14:05～16:30	※順不同 健康保険組合連合会 会長代理	佐野 雅宏 先生
	厚生労働省 大臣官房審議官	矢田貝 泰之 先生
	公益社団法人日本医師会 常任理事	城守 国斗 先生
	日本製薬団体連合会 保険薬価研究委員会 委員長	藤原 尚也 先生
	質疑応答：	

※尚、都合によりプログラム・講師陣等が変更となる場合がございますので予めご了承ください。定員がございますので、早めにお申し込みください。

※参加者には(公社)日本医薬経営コンサルタント協会の履修認定時間(3.0時間)が認定される予定です。

【お申し込み】 <締切：9/22(月)> 下記ウェブフォーム、またはメールにてご出欠をお知らせください。

URL：<https://forms.gle/QwNcXn8VseXpHA7r5> ※右のQRコードからもアクセス可能です。

※メール(secretary@healtheconomics.gr.jp)でお申込みの際は、「シンポジウム(会場参加・Zoom参加)」「参加者名・所属・TEL・メールアドレス」「医コン会員の方は会員番号」を明記してください。

■問い合わせ先：医療経済フォーラム・ジャパン事務局 <(株)川原経営総合センター内>

〒140-0001 品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー TEL.03-5422-7670(代) FAX.03-5422-7617

